

大会名 Competition	第39回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-105	Year Month Day Time 2026 年 5 月 3 日 17 : 30
場所 Place	NODENアリーナ(能代総合体育館)

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
駒大苫小牧	(14 1st 27 10 2nd 23 3 3rd 20 25 4th 23 0 T)	東 山
52 ●		93 ○

主審:Crew chief
田村 高光 秋田
副審:Umpire
富岡 啓子 秋田
遠田 亘 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代科技

No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
1	橋本 徠衣		-	-	-	-	0	4	鈴木 勇功		4	0	2	0	1
2	× 小田 爽太郎		5	1	1	0	3	5	中村 颯斗	cap	7	1	2	0	0
5	× 阿部 悠成	ムハンマド マウテ	14	0	6	2	4	6	大森 来玖		13	2	3	1	2
13	× 本田 悠成		8	0	2	4	2	7	× 新井 伸之助		9	1	2	2	0
15	木戸 元柁		-	-	-	-	0	8	× 佐藤 久遠		12	1	2	5	2
17	堀崎 裕矢		-	-	-	-	0	9	× エトウ ブ	ワシヤ エノック	7	0	3	1	1
19	高原 一馬		-	-	-	-	0	10	× 香月 遥斗		9	0	4	1	3
22	小山 マチ 佑紀		8	2	1	0	2	11	峰崎 仁		2	0	1	0	3
25	× 垣内 雄士郎	cap	5	1	1	0	0	12	井川 瑛心		5	0	2	1	0
28	伊藤 和心		8	1	1	3	1	13	× 吉本 拓司		7	1	2	0	2
31	高橋 甘太郎		4	0	1	2	0	14	野呂田 桜輔		6	2	0	0	1
35	熊谷 海凜		0	0	0	0	0	15	セゾウ マワラ クレト		9	0	4	1	2
52	土方 暖人		-	-	-	-	0	16	伊藤 凪		3	1	0	0	1
55	袋井 想之介		-	-	-	-	0								
68	× 高橋 和真		0	0	0	0	1								
72	葛西 夏輝		0	0	0	0	0								
コーチ	田島 範人						0	コーチ	大澤 徹也						0
Aコーチ	スライオン ジェームス 佑樹						0	Aコーチ	東 武史						0
合計			52	5	13	11	13	合計			93	9	27	12	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	14	26.92%	阿部 悠成
2	8	15.38%	本田 悠成
3	8	15.38%	小山 マチ 佑紀
	8	15.38%	伊藤 和心

1	13	13.98%	大森 来玖
2	12	12.90%	佐藤 久遠
3	9	9.68%	新井 伸之助

Score ranking[Game]

1	14	阿部 悠成	駒大苫小牧	2	13	大森 来玖	東 山	3	12	佐藤 久遠	東 山
---	----	-------	-------	---	----	-------	-----	---	----	-------	-----

初戦を勝利で飾り、更なる上位を狙うチーム同士の対戦。

1Q、両チームともに非常にタイトなディフェンスを見せ2分間ノースコアで試合が進む。駒大苫小牧が#25垣内のレイアップで先制するが、東山は#10香月の連続得点などで序盤をリードする。互いにディフェンスを振り切れず思うように得点を重ねられない状況が続くが、東山がフルコートプレスでプレッシャーをかけ始めると駒大苫小牧は、ターンオーバーを連発し一気に点差が開く。14-27東山リードで1Q終了。

2Q、早く点差を一桁に戻したい駒大苫小牧ではあったが1Q同様東山のフルコートプレスにボール運びができず、逆に点差が開いていく。駒大苫小牧は#5アディエモがゴール下で一人気を吐きチームをけん引するも、東山ディフェンスを攻略できないまま時間が進む。その後も#7新井の3Pなどで着実に加点し続けた東山が大量リードし24-50で前半終了。

3Q、東山は#8佐藤、#5中村の3Pなどで確実に得点を重ねていく。歯車がかみ合わない駒大苫小牧は田島コーチの檄が飛ぶ中必死にプレーを続けるものの、ことごとくシュートを外し7分間ノースコアと一方的な展開となる。#28伊藤の3PがこのQ唯一の得点となってしまう、27-70で3Q終了。

4Q、試合は決したもののチームとしての成長を望む駒大苫小牧は「やりきる」を合言葉にメンバーを全員入れ替えて迫力あるディフェンスを展開する。#22小山の3Pや#13本田のレイアップなど、はつらつとしたプレイで観客を沸かせる。東山も多彩な攻撃で応戦し点差以上に非常に盛り上がった最終盤となったが、結局東山が52-93で初日2連勝を飾った。